



2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月9日

東

上場会社名 株式会社ジンズホールディングス 上場取引所
 コード番号 3046 URL <https://jinsholdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 田中亮
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 中谷元明 (TEL) 03-6890-4800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第1四半期	23,987	13.9	2,023	1.0	2,098	4.8	1,463	11.1
2025年8月期第1四半期	21,056	15.9	2,003	83.8	2,002	89.5	1,317	127.3

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 1,448百万円(35.9%) 2025年8月期第1四半期 1,065百万円(109.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	62.71	—
2025年8月期第1四半期	56.44	53.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第1四半期	55,989	31,810	56.8
2025年8月期	57,866	31,742	54.9

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 31,810百万円 2025年8月期 31,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 59.00	円 銭 109.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)		47.00	—	68.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	51,770	15.5	5,160	0.1	5,100	△2.3	3,590	△5.2
通期	111,650	14.8	13,000	7.5	12,880	6.3	8,820	5.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期 1Q	23,980,000株	2025年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期 1Q	634,588株	2025年8月期	638,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期 1Q	23,344,148株	2025年8月期 1Q	23,340,523株

注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年9月1日～2025年11月30日）における国内経済については、国内景気は、米国の通商政策による影響がみられるものの、緩やかな回復傾向にあります。一方で、依然として、インフレによる個人消費への影響は大きく、消費者マインドの下振れリスクには留意すべき状況が続いている。

世界経済については、米国の通商政策が与える不透明感を背景に、各国経済への影響が懸念されております。各國の経済は、おおむね足踏み状態が継続すると見込まれておりますが、米国においては、景気の拡大が緩やかになっている中、関税率の引上げに伴う駆け込み需要が落ち着き、その反動による影響がみられます。物価の高騰に対する消費者の防衛心理もあり、個人消費は横ばいが続いております。アジア地域では、特に中国において、前年から実施されている国家主導の耐久財買い替え政策等が一巡し効果が薄れ始め、依然として不動産価格の低迷は継続しており景況感の回復には至っておりません。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウエア事業では、経営課題として掲げているイノベーティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開を継続的に推進しております。商品開発につきましては、お客様のニーズや利用シーンに応じて、機能性とファッショナビティを両立する商品開発をグローバルな視点で取り組んでおります。店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性を考慮した立地への出店を推進し、国内では、ショッピングモールや駅ビル、ロードサイド店舗への出店をお客様と地域の特性に合わせ展開しております。また、2026年春には、東京・銀座に初のグローバル旗艦店「JINS銀座店」をオープンいたします。銀座を拠点に日本発のクリエイティブティと革新を世界へ発信し、グローバルブランドとして新たな挑戦をする店舗となります。海外では、日本の店舗モデルをベースに、地域ごとの市場環境や競合状況に合わせた店舗づくりを進めております。また、新規国として11月にベトナムの最大都市・ホーチミンに3店舗を同時オープンしております。

店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、国内556店舗、海外256店舗（中国155店舗、台湾86店舗、香港10店舗、米国5店舗）の合計812店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、国内及び海外の新規出店の効果もあり23,987百万円（前年同期比13.9%増）となりました。営業利益は2,023百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益は2,098百万円（前年同期比4.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,463百万円（前年同期比11.1%増）となり、増収増益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウエア事業	18,081百万円	75.4%	12.7%
海外アイウエア事業	5,905百万円	24.6%	17.9%
合計	23,987百万円	100.0%	13.9%

〈国内アイウエア事業〉

国内アイウエア事業につきましては、出店が加速する中、継続的な販促キャンペーン活動により、レンズ・フレームともに高単価商品が好調だったことに加え、一式単価が伸長したことにより売上を牽引しました。また、旗艦店等の先行投資も進んでおり、事業は順調に進捗しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は556店舗（出店16店舗、退店なし）となりました。

以上の結果、国内アイウエア事業の業績は、売上高18,081百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益1,411百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

〈海外アイウエア事業〉

海外アイウエア事業につきましては、中国においては、事業構造改革の取り組みが進んでおり、業績は順調に推移しております。

台湾においては、業績が順調に推移する中、更なる出店を加速させてまいります。

香港においては、景気の低迷や為替の影響が継続しておりますが、引き続き足元の構造改革を進めてまいります。

米国においては、新規店舗が好調であり、業績が大きく改善しております。

店舗展開につきましては、中国155店舗（出店3店舗、退店4店舗）、台湾86店舗（出店8店舗、退店なし）、香港10店舗（出店なし、退店なし）、米国5店舗（出店なし、退店なし）の合計256店舗となりました。

以上の結果、海外アイウエア事業の業績は、売上高5,905百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益611百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2025年8月期末 (2025年8月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (2025年11月30日)	増減	増減率(%)
総資産	57,866	55,989	△1,876	△3.2
負債	26,124	24,179	△1,944	△7.4
純資産	31,742	31,810	67	0.2

(イ) 資産

流動資産は、24,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,283百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が618百万円増加したものの、売掛金が1,369百万円、現金及び預金が3,774百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、31,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,406百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い、建物及び構築物等の有形固定資産が970百万円増加したこと、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が1,374百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、55,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,876百万円減少いたしました。

(ロ) 負債

流動負債は、19,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,386百万円減少いたしました。

これは主に、買掛金が266百万円減少したことにより加え、納税により未払法人税等が1,849百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、4,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ441百万円増加いたしました。

これは主に、その他に含まれる長期未払金が474百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、24,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,944百万円減少いたしました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、31,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,463百万円を計上したものの、配当金の支払いにより1,394百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年10月10日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,977	8,203
売掛金	7,968	6,598
商品及び製品	5,838	6,456
仕掛品	31	42
原材料及び貯蔵品	495	528
その他	2,339	2,537
流動資産合計	28,650	24,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,796	11,539
その他（純額）	1,934	2,161
有形固定資産合計	12,731	13,701
無形固定資産		
	5,677	7,168
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,913	5,978
その他	4,894	4,775
投資その他の資産合計	10,807	10,753
固定資産合計	29,216	31,623
資産合計	57,866	55,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,178	2,911
短期借入金	5,449	5,176
1年内返済予定の長期借入金	10	11
未払金及び未払費用	7,905	8,107
未払法人税等	2,393	543
賞与引当金	302	459
商品保証引当金	322	279
事業構造改革費用引当金	43	37
その他	2,111	1,803
流動負債合計	21,717	19,331
固定負債		
長期借入金	14	10
株式給付引当金	153	138
資産除去債務	1,321	1,360
その他の引当金	233	206
その他	2,683	3,132
固定負債合計	4,406	4,848
負債合計	26,124	24,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,201	3,201
利益剰余金	28,996	29,066
自己株式	△4,033	△4,019
株主資本合計	31,367	31,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	70
為替換算調整勘定	308	289
その他の包括利益累計額合計	375	359
純資産合計	31,742	31,810
負債純資産合計	57,866	55,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	(単位：百万円)
売上高	21,056	23,987	
売上原価	4,449	4,900	
売上総利益	16,606	19,086	
販売費及び一般管理費	14,603	17,063	
営業利益	2,003	2,023	
営業外収益			
受取利息	3	0	
為替差益	21	87	
補助金収入	1	1	
その他	12	43	
営業外収益合計	38	132	
営業外費用			
支払利息	35	44	
その他	3	13	
営業外費用合計	38	57	
経常利益	2,002	2,098	
特別損失			
固定資産除却損	57	105	
店舗閉鎖損失	1	3	
その他	0	—	
特別損失合計	58	109	
税金等調整前四半期純利益	1,944	1,988	
法人税、住民税及び事業税	504	316	
法人税等調整額	122	207	
法人税等合計	627	524	
四半期純利益	1,317	1,463	
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,317	1,463	

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,317	1,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	3
為替換算調整勘定	△250	△19
その他の包括利益合計	△251	△15
四半期包括利益	1,065	1,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,065	1,448
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウエア 事業	海外 アイウエア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	16,048	5,007	21,056	—	21,056
外部顧客への売上高	16,048	5,007	21,056	—	21,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	328	29	358	△358	—
計	16,377	5,037	21,414	△358	21,056
セグメント利益	1,694	308	2,003	—	2,003

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウエア 事業	海外 アイウエア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,081	5,905	23,987	—	23,987
外部顧客への売上高	18,081	5,905	23,987	—	23,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	320	37	357	△357	—
計	18,402	5,943	24,345	△357	23,987
セグメント利益	1,411	611	2,023	—	2,023

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	688百万円	801百万円